

BlackLine

バックオフィス業務改革は、単なるIT導入ではなく、企業全体のオペレーショナル・エクセレンスを追求し、データドリブン経営を実現するための重要な取り組みです。総務、人事、経理、調達購買といった部門の業務プロセスを標準化・効率化し、自動化を徹底することで、手作業や属人化された作業を極力最小化します。

紙やハンコが残る従来型の経理業務からリモート決算も可能な経理業務のデジタル化を実現。業務の効率化・自動化を徹底し手作業・属人化作業を撲滅することで、経理財務部門が経営・事業のValue Creatorへと転換するための変革をご支援します。



経理・財務業務でこんな課題はありませんか？

ここ20～30年で経理業務はERPや会計システムの導入が進み、手間のかかる手作業からシステムでの処理へと変化してきました。しかしシステムではカバーされない業務がまだ多く存在し、オフラインのコミュニケーションで支えられているのが現状ではないでしょうか。



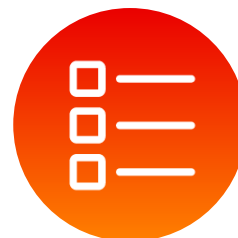
昔と変わらない働き方からの脱却



属人化からの脱却



付加価値業務への転換



生産性・精度の向上

経理・財務業務のその課題、富士通×BlackLineが解決します。

BlackLineは経理の業務変革を目指す皆様と共に、経理の働き方をアップデートします。さらに、経理業務をデジタル化し、業務の効率と品質を飛躍的に向上させることができます。



可視化

- ・手順の可視化
- ・進捗状況の可視化
- ・負荷の可視化
- ・ログの管理



標準化

- ・属人性の排除
- ・業務内容の明文化
- ・経理決算プロセスの統一
- ・M&Aや組織再編への迅速な対応



自動化

- ・照合作業の自動化
- ・大量データ処理の自動化
- ・繰り返し作業の自動化
- ・押印手続きの撤廃
- ・ペーパーレス
- ・データ検索時間の低減



統制強化

- ・作業および承認の証憑・証跡管理
- ・本社統制機能の強化
- ・BCP対策

6つの機能で経理業務を包括的に支援します。

タスク管理

決算プロセス全体を可視化。
関連文書や承認ログ含め必要情報を一元管理。

勘定照合

各勘定科目の残高の整合性を確認するための照合作業をデータの取込のところから自動化。補助簿も管理することで作業をより効率化が可能に。

マッチング

複雑なルールや複数明細同士の突合にも対応し、大量の照合作業を自動化。大幅に作業時間を短縮するとともに、リスクも軽減。

仕訳入力

ERPシステムやその他のBlackLineソリューションと連携し、仕訳の作成、検証、レビュー、転記を一元管理および自動化。

差異分析

勘定の増減計算と特定を自動化。リスクの継続的な監視が可能になり、迅速な意思決定をサポート。

会社間取引

会社間取引を構造化および自動化し、オペレーションの効率性を最大化。控除可能性を高め、不要な税支出の削減を実現。

富士通の財務経理部門変革の取組み（ブラックライン株式会社のウェブサイトに移ります）

BlackLine導入による業務効率化・自動化 – グループ/グローバル全体での財務経理部門変革に向けて –
[記事本文を読む](#)

- ・ SAP、SAPロゴ、記載されているすべてのSAP製品およびサービス名はドイツにあるSAP SEやその他世界各国における登録商標または商標です。またその他の商標情報および通知については、<https://www.sap.com/copyright> をご覧ください。
- ・ 本資料に記載されているシステム名、製品名等には、必ずしも商標表示（（R）、TM）を付記していません。

富士通コンタクトライン 0120-933-200

受付時間：9時～17時30分（土・日・祝日 当社指定の休業日を除く）

